



保護者も一緒に向き合っていく 就職活動の安心感

くまの たけと
熊野 健人さん | 紅屋商事株式会社 人事総務部 2014年入社
八戸市出身・弘前市在住

「押しつけ」「放任」ではなく、 保護者も一緒に「企業研究」を！

大学時代は北海道で過ごし、就職活動開始時は札幌で就職するつもりでしたが、就職活動中は母から何度も「青森に帰ってきなさい」と言われていました。試しに県内企業を検討したところ、流通小売業の就職を志望していたこともあって紅屋商事の選考を受けることにしました。

紅屋商事の最終選考では両親から手紙をもらってこようという課題がありました。内定式の日に初めてその手紙を読んだのですが、意外にも「好きなことをがんばれ」と書いてありました。ずっと「青森に帰ってきてほしい」と言っていた母なのに、最後は自分の好きなようにしろと言ってくれた親心に触れ、心を動かされました。また、それまであまり交流の無かった兄の「地元就職したら一緒に釣りに行こう」という言葉も添えられており入社を決めました。

両親は手紙を書くにあたり、自分たちなりに会社への理解を深めようと努力し、良い企業だと納得したうえでそのような手紙をくれたのだと思います。入社を決める際にも背中を押してくれました。また、入社後に落ち込んだことがあっても「1年は頑張りなさい、そうすれば見えてくるものがある」という励ましの言葉をもらいました。その後本当に会社の良いところが見えてきて今に至ります。

保護者も会社を理解すれば、働いてから辛いことがあっても応援してくれます。あの時の両親の言葉には本当に感謝しています。せっかく就職しても早い段階で離職してしまう若者も多いので、会社への親の理解は重要だと思います。

県内企業にもやりがいのある仕事は たくさんあります

入社当初は地元の店舗に配属され、その後弘前店、黒石店に異動しました。パートの皆さんが優しくとても楽しい環境で働いていました。現在は本部に配属され人事採用と

して働いています。人事採用として会社全体の働き方を見ることが多くなり、同じ会社でも多様な働き方があることを実感しています。

例えば、バイヤーになると全国、世界を飛び回るので、月1/3は出張です。青果部門は月の半分は出張になります。産地や季節によって味が変わるので、良い商品を探して全国、世界に足を運びます。良い商品を青森県民に届ける仕事はとてもやりがいがあります。

また、給与に関しても最初は県内企業の給料は安いという固定観念がありましたが、学生時代の友人たちと比べても少ないと感じたことはありません。

地元での生活で手に入れた 充実したプライベート

休日は父や兄と共通の趣味である釣りを楽しんでおり、遠くに住んでいたら得られなかった家族との大切な時間を過ごせています。将来のことを考えると近くに両親がいることはとても安心できます。

青森県は、三方を海に囲まれており山も川もあるので、アウトドア好きには絶好の環境です。そんな大自然がもたらしてくれる食材は季節ごとにバリエーション豊かで、食の楽しみもあります。また、買い物もネットショッピングがあるので特段困ったことはありません。

地元には気の知れた友達もいますし、あらためて考えてみると、県内で暮らすメリットはあってもデメリットは思い当たりません。本当に帰ってきてよかったと思っています。

選択肢を広げるために

県内就職に対して「給与が低い、仕事の選択肢の幅が狭い」と思っていないですか。そんなことはありません。まずは県内就職に対する先入観を捨てて保護者の方もお子さんと一緒に就職活動するつもりで企業研究してみてください。県内にも輝ける場所はたくさんありますよ！



住み慣れた地元にながら、 世界を相手に仕事ができるやりがい

きどくち ゆうな
木戸口 祐奈さん | エプソンアトミックス株式会社 営業推進部 2019年入社
三戸郡階上町出身・在住

「そばに家族がいると安心だよ」。 双子の姉たちのアドバイスが心に響いて

県外の大学に在学中、就活を始めた当時は、必ずしもUターン就職をしたいと決めていたわけではありませんでした。しかし、就活を進めるうちに、県内の企業の方たちのお人柄の温かさやフレンドリーな雰囲気なふれ、やはり青森に戻ろうかなという気持ちになりました。

私には2歳年上の双子の姉たちがいるのですが、私が「卒業したら地元に戻ろうかな…」と相談した時に、すごく喜んで背中を押してくれたんです。「働きだすと環境ガラッと変わるから、そばに家族がいれば安心だし、困った時は私たちがいつでも相談に乗るよ」と言ってくれてすごく心強かったのを覚えています。両親は、私が高校生生の頃から私の意思を尊重してくれて、「行きたいところに行っていんだよ」と言っていました。両親には、地元に戻る意思が固まってから伝えたのですが、すごく喜んでくれて、「こんな私でも親は頼ってくれているんだな…」と感じました。

家族や友人がそばにいる安心感は、 何物にも代えがたい

現在、階上町の実家には、両親と双子の姉たち、祖母の家族6人で暮らしています。県内就職のメリットは、やはり家族や友人がそばにいる安心感。私の友人はほとんどが地元就職なので、「会いたい時にすぐに会えて幸せだね」と話しています。落ち込んだ時は、姉たちが話を聞いてくれて励ましてくれます。初めてお給料をもらった時は、八戸市内のちょっとリッチな中華料理屋さんで家族を招待しました。三姉妹でショッピングに出かけることもあり、おしゃべりしながらリフレッシュしています。

生活コストの安さも魅力

大学時代、初めて県外で一人暮らしをした時は、決してぜいたくをしているわけではないのに、「こんなにお金がかかるんだ…」と正直驚きました。その点、今は実家暮らしです。青森は物価も安いので、地元にいる方がお金を貯められると思います。就活中は「青森は賃金が安いよ」といろいろな人に言われましたが、実際に暮らしてみるとトータルで支出が少ない分、特別困ることはありません。

先入観だけで県内就職をネガティブにとらえず、 広い視点でアドバイスして！

現在、私は営業推進部に所属し、お客様からいただいた注文書の処理や納期の調整を行なっています。当社が生産している金属粉末は、スマートフォン、自動車のエンジン、医療機器、ロボットなどの電子部品の原材料として世界最先端の製品に使用されています。取引先のほとんどは、ヨーロッパやアメリカ、アジアなど海外のお客様です。日々の業務においては、海外のお客様と英語でメールやり取りすることもあります。私はあまり英語が堪能ではないので電話対応は難しいですが、英語が得意な先輩が英語で商談している姿を見ると、私もいつかあんなふうになりたいと思います。当社は、営業と技術者が一緒に、海外のお客様のもとに向いて商談を行うこともあります。今年はコロナの影響で海外との行き来はできませんでしたが、もっとスキルを磨き、世界各国のお客様を相手に技術的な提案ができるようになるのが夢です。

保護者の方のなかには、青森県内での就職についてマイナスなイメージを持たれている方もいるかも知れません。しかし、県内には独自の優れた技術力を持ち、世界のマーケットに貢献している企業や、やりがいをもって働ける会社がたくさんあります。私自身、今の仕事にやりがいを感じていますし、プライベートではドライブなどを楽しみながら青森の魅力を見つめているところです。青森県内にはたくさんの魅力的なスポットがありますが、学生のうちはそれをすべて知ることはできません。私もそうでしたが、就活中のお子さんはまだまだ世界が狭いと思うので、保護者の方はどうか先入観だけで県内就職をネガティブにとらえず、広い視点でアドバイスしてあげてほしいと思います。

木戸口さんの保護者から

子どもが帰ってきてにぎやかに過ごすことができている。落ち込むことがあっても家族それぞれが直接フォローすることができており、自立が円滑に進むように見守っています。就職活動の最終判断は自分、責任も自分、ただし家族は全面的に後ろから支えていくということは本人も理解してくれていたと思います。

就職活動中はあくまでも助言程度に留めるように意識して向き合ってきましたが、今就職活動を振り返ると、時間を見つけて直接企業の社屋を見学するなど、地元企業に対する視野を広げる機会を積極的に作れば良かったと感じています。